

山鳥坂ダム工事事務所

平成26年8月 台風11号による肱川流域の出水状況

- 台風11号の接近に伴い、肱川流域では、8月7日22時の降り始めから8月9日14時までの累計雨量は153.8mmを記録しました。
- 肱川上流域の鹿野川ダムでは洪水貯留を行いました。鹿野川ダムにおいては最大流入量毎秒737トンの約20%を貯留しました。
- 今回の出水では幸い激しい降雨にはなりませんでした。肱川流域においては最近10年間だけでも平成16年、17年、23年と度重なる被害に見舞われていることから、引き続き洪水に備えて万全の体制をとっていきます。

平成26年8月12日
国土交通省 四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所

(問い合わせ先)

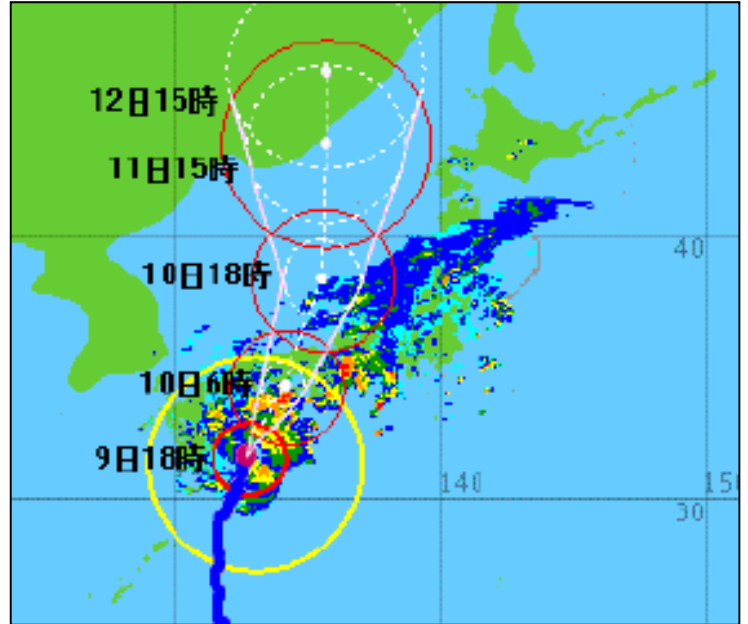
国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所 鹿野川ダム管理庁舎
電話 (0893) 34-2350
副所長 三宅 和志 内線 (204)
◎事業計画課長 藤田 博史 内線 (331)

◎主な問い合わせ先

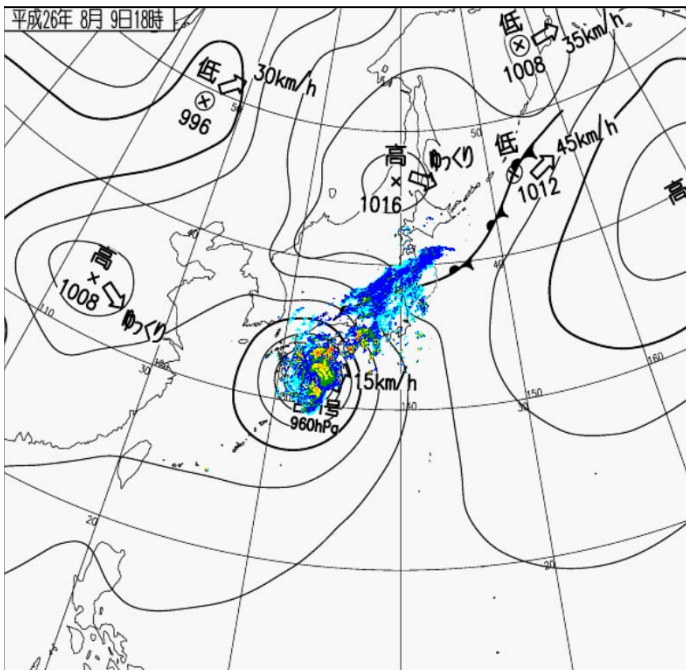
気象の概要

■台風経路図(気象庁提供)

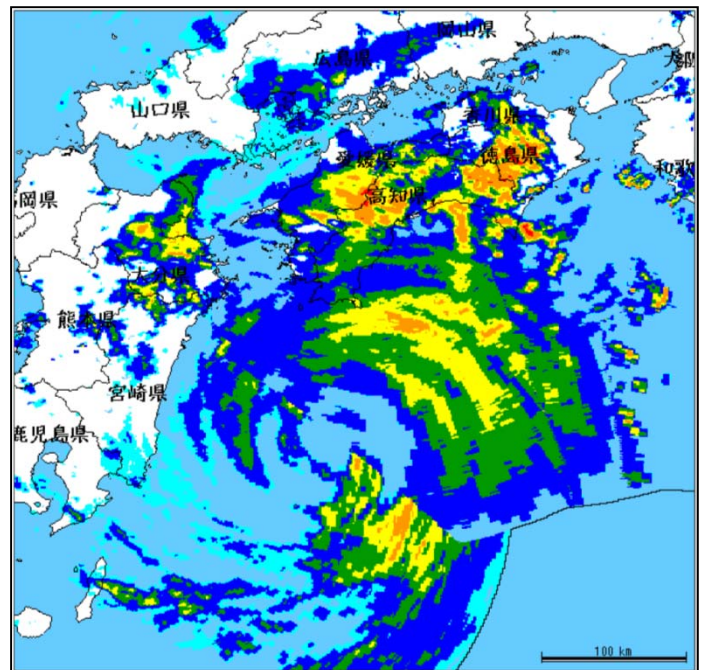
平成26年7月29日に日本の南海上で発生した台風11号は、ゆっくりと発達しながら西に移動し、8月5日頃から進路を北寄りに変え、勢力を保ちつつ非常にゆっくりした速度で北上、8月10日高知県に上陸し、四国及び近畿地方を横断して日本海に抜け、8月11日午前北海道の西の海上で温帯低気圧に変わりました。台風に伴う南からの湿った空気が日本列島上空に流れ込み、肱川流域に多くの雨をもたらしました。



■天気図(気象庁提供)



■レーダ雨量実況図(国土交通省)



台風11号における鹿野川ダムの操作の状況

肱川上流域における降雨状況

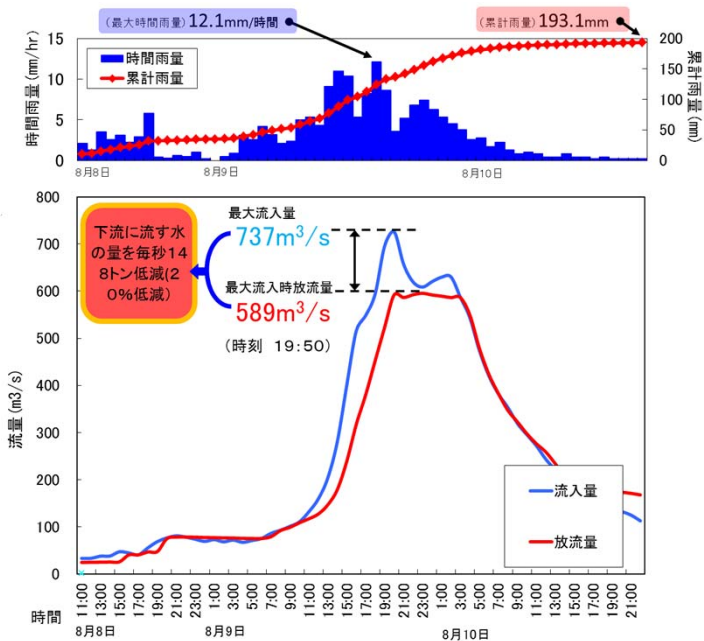
- 8月7日～8月10日 台風11号の影響による降雨を長期間にわたり観測しました。

雨量 鹿野川ダム流域平均 累計**193.1mm** (最大**12.1mm/時間**)

ダムによる洪水貯留の状況

- 肱川上流域に整備運用されている「鹿野川ダム」により洪水の貯留を行いました。
- 鹿野川ダムでは、最大流入量毎秒737トンのうち約20%を貯留し、最大流入時放流量を毎秒589トンに低減させました。
- 本出水の大洲第二水位観測所(肱川橋)における、最大水位は3.86mであり、もしダムで貯留しなかった場合にはこれより約7cm水位が高くなっていたものと考えられます。

洪水貯留グラフ (鹿野川ダム)



肱川流域位置図

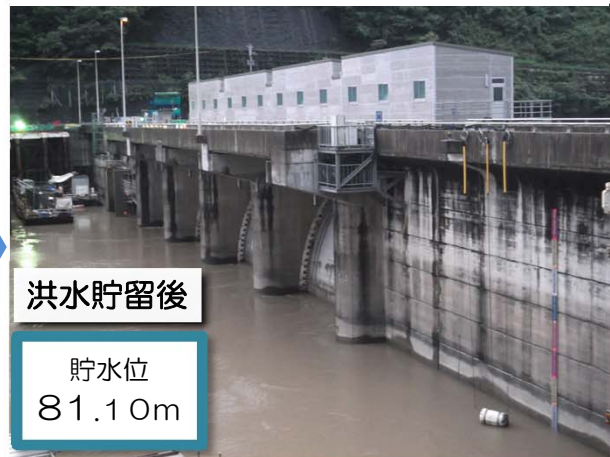


ダムによる洪水貯留の状況

8月9日 15:10頃 鹿野川ダム湖 状況



8月10日 6:00頃 鹿野川ダム湖 状況



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。